

ADOMUKEI PREFECTURAL



HACHINOHE TECHNICAL HIGH SCHOOL



青森県立八戸工業高等学校

学校案内

好きなことだと、時間も忘れてしまう。限らないチャレンジ精神で、豊かな感性を創り出そう。

創立以来、東北・全国大会の出場を果たすなど一人一人が高い目標に向けてチャレンジしています。

部活動

■運動部■

アイスホッケー/卓球
自転車競技/硬式野球
レスリング
ウェイトリフティング
弓道/山岳/体操
ラグビーフットボール
剣道/柔道
バスケットボール
サッカー/陸上競技
バレーボール/バドミントン
テニス/応援団

■文化部■

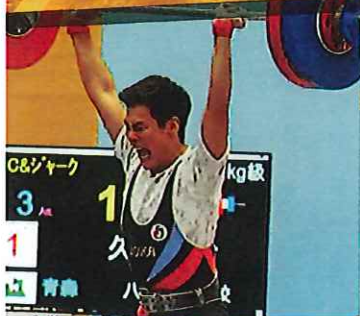
科学/写真/美術/吹奏楽
放送/囲碁/将棋
ボランティア

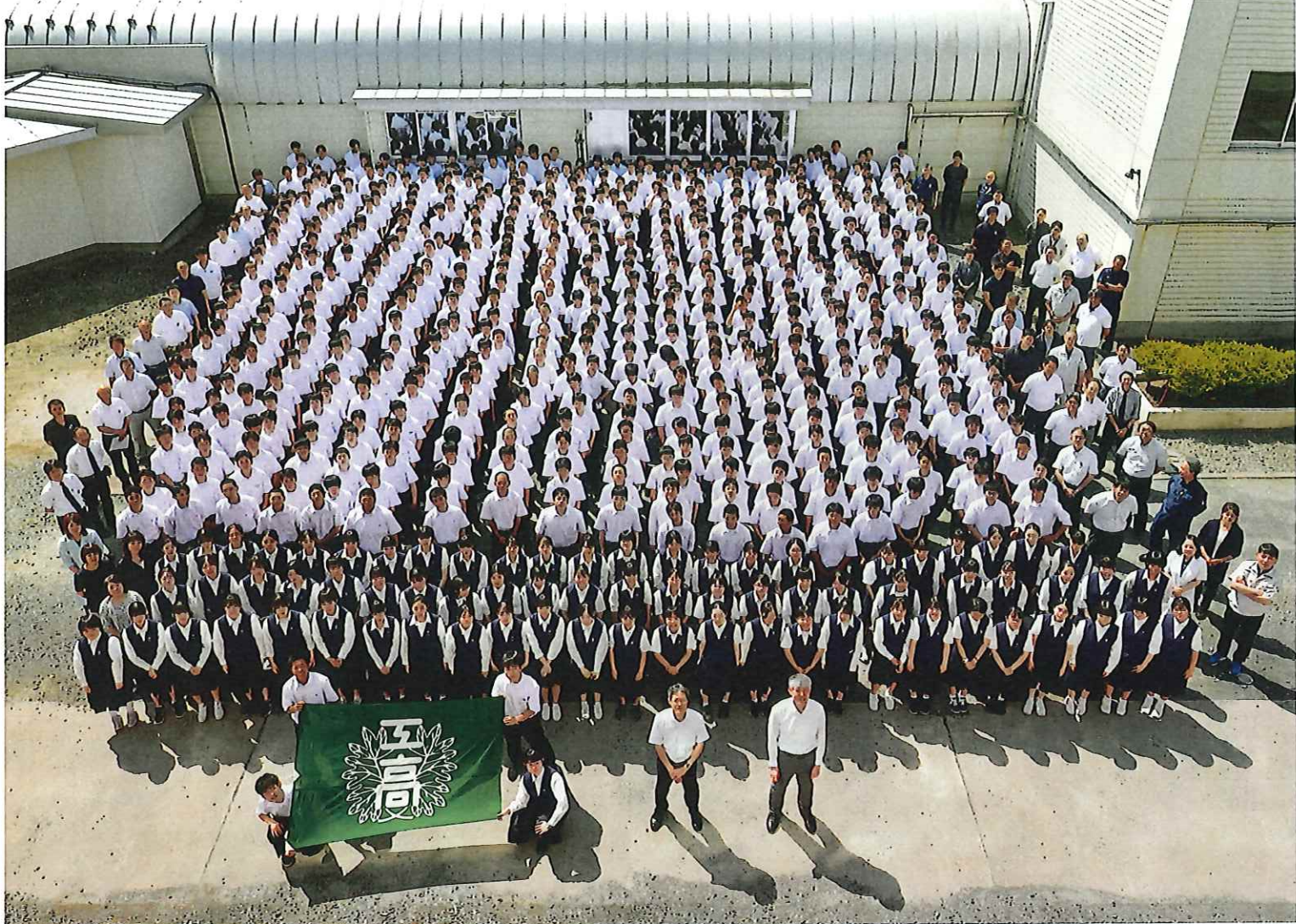
■工業部■

機械加工/建築/測量
電気工事/マテリアル
電子回路/ロボティクス









教育方針

教育基本法の精神に基づいて
『自主と協調・勤労と創造』
 を校訓とし、健全な心身の発達を基盤として、
 豊かな心を育み自らの生き方を主体的に切り拓
 く逞しい人間性の育成をめざす。



学校の沿革

- 昭和 19年 4月 八戸市立工業学校創立
機械科および工業化学科設置
- 昭和 20年 5月 土木科設置
- 昭和 23年 4月 学制改革により
八戸市立工業高等学校となる
- 昭和 31年 3月 県移管により
青森県立八戸工業高等学校と改称
- 昭和 34年 4月 電力科設置
- 昭和 37年 4月 電力科を電気科に改称
- 昭和 38年 4月 金属工業科設置
- 昭和 44年 4月 電子科設置
定時制の課程（夜間）
機械工作科、電気工作科設置
- 昭和 48年 4月 定時制の課程（夜間）
機械工作科、電気工作科を
機械科、電気科に改称

- 平成 元年 4月 情報技術科設置
- 平成 2年 4月 電子機械科設置
- 平成 6年 4月 金属工業科を材料技術科に改称
- 平成 18年 4月 定時制の課程（夜間）機械科、電気科を統
合し、工業技術科となる
- 平成 21年 4月 工業化学科、募集停止となる
- 平成 25年 4月 土木科を土木建築科に改称し、土木コース、
建築コース別の募集とする
- 令和 3年 4月 情報技術科、募集停止となる
電子機械科、募集停止となる
土木建築科、募集停止となる
土木科設置
建築科設置

Enjoy SCHOOL LIFE

4 入学式・1学期始業式
対面式・健康診断
前期生徒総会

5 開校記念日
交通安全教室
春季大会・避難訓練

6 高校総合体育大会
ネットトラブル防止教室
遠足・1学期末考査

7 大運動会
求人票閲覧開始
1学期終業式

8 2学期始業式
基礎学力テスト

9 インターンシップ
就職選考開始
2学期中間考査
体育大会

10 避難訓練・八工祭
弁論大会
薬物乱用防止教室
企業PR説明会

11 修学旅行
立会演説会・役員選挙
2学期末考査

12 後期生徒総会
2学期終業式

1 3学期始業式
基礎学力テスト
生徒研究発表会

2 学年末考査
特別賞授与式

3 卒業式
入学者選抜・合格発表
修了式・離任式



機械科

すべての産業に貢献するのが機械科です

「創造からものづくり」

機械科では機械に関する設計、製図、機構、自動制御などの基礎的な知識、技術を学習します。将来は各種生産機械のオペレーターや設計者として活躍できるよう、実験、実習を通して「思いやり」「総合的な判断力」のある技術者を育成しています。いろいろな機械操作を学び、ものづくりにチャレンジしましょう。

●取得できるおもな資格・検定等

危険物取扱者、機械製図検定、計算技術検定、ガス溶接技能講習、アーク溶接特別教育、パソコン利用技術検定、技能検定 3 級・2 級（機械保全・機械加工・機械検査）、アーク溶接適格性検査（基本級 A・2F）



材料技術科

鉄を極める

「地域の素形材産業と歩む」

材料技術科は「鉄を極める」をモットーに、工業材料の中心的存在である鉄鋼材料の性質や加工方法（溶接や切削）を中心に学習します。その他、セラミックス等について学習し、これから重要になる新素材（エネルギー変換材料、環境に調和した素材）の研究をしています。また、八戸市の新産業指定都市制定と共に誕生した「金属工業科」を前身にしているため、八戸地区の素形材産業に人材を多く輩出しています。

●取得できるおもな資格・検定等

金属熱処理技能士、機械検査技能士、機械保全技能士、危険物取扱者（甲種・乙種）、アーク溶接特別教育、ガス溶接技能講習、基礎製図検定



電気科

暮らしを支える電気を学ぶ

「人々の生活を守る仕事」

電気は人々の暮らしを支え、あらゆる産業の根幹を成すものです。電気科卒業の電気技術者は社会の様々な場所で必要とされている人材です。電気科では電気の基礎知識・技術を習得させ、電気をつくる・送る・利用する等、多くの場面において、持続可能な社会の実現を目指した取り組みに寄与できる人材を育成します。また、経済産業省第三種電気主任技術者認定校として、卒業後は関連した業務の実務経験により第三種電気主任技術者免状の取得が可能です。

●取得できるおもな資格・検定等

第二種電気工事士、第一種電気工事士
第三種電気主任技術者、2級電気工事施工管理技術検定（技士補）
危険物取扱者、計算技術検定、パソコン利用技術検定



電子科

便利で快適な生活の基盤

「情報化社会を支える」

スマートフォンやテレビなどの通信機器。自動車やロボット・家電製品に欠かせないコントロール装置。家庭や会社・工場などで見かける電気を使う製品の全てに電子回路が組み込まれています。

電子科の生徒は電子回路を作るための基礎やコントロールに利用するコンピュータのハードウェアとソフトウェアを勉強し、卒業後は通信系の会社はもちろん自動車メーカーに就職したり、大学で更に高度な知識・技術を習得しています。

●取得できるおもな資格・検定等

工事担任者、第二種電気工事士、陸上特殊無線技士、危険物取扱者、パソコン利用技術検定、情報技術検定、計算技術検定、品質管理検定（QC検定）



土木科

安全で豊かな暮らしを支えるのが土木の仕事です

「社会のインフラを支える」

道路・鉄道・港湾・空港などは、社会基盤施設（インフラストラクチャー）とよばれ、日常生活や産業活動に必要不可欠なものです。土木は私たちの暮らしを支え、安全で豊かな社会づくりに、貢献しています。土木科では、測量や設計などの基礎的な知識・技術を学習します。また、学習や資格取得をとおして、チームワークや自ら学ぶ姿勢を身につけます。土木系公務員や企業、大学への進学など、将来の技術者の育成をめざします。

●取得できるおもな資格・検定等

測量士補、2級土木施工管理技術検定（第1次検定）、計算技術検定、パソコン利用技術検定、危険物取扱者



建築科

自分の仕事が形に残る醍醐味、住みよい町造りに貢献「建築科」

「空間をプロデュースする」

建築とは、人々の生活のために快適な環境（空間）をつくることであり、多くの人を豊かに、そして笑顔にできるものです。また、ゼロからひとつの建築物をつくり上げる感動は、建築でしか味わうことができない醍醐味です。自分のやった仕事が形となる建築は、とてもやりがいのある仕事です。建築科では、建築物をつくり上げるための設計方法や施工の仕方などについて幅広く学びます。また、大工技能の学習にも力を入れています。

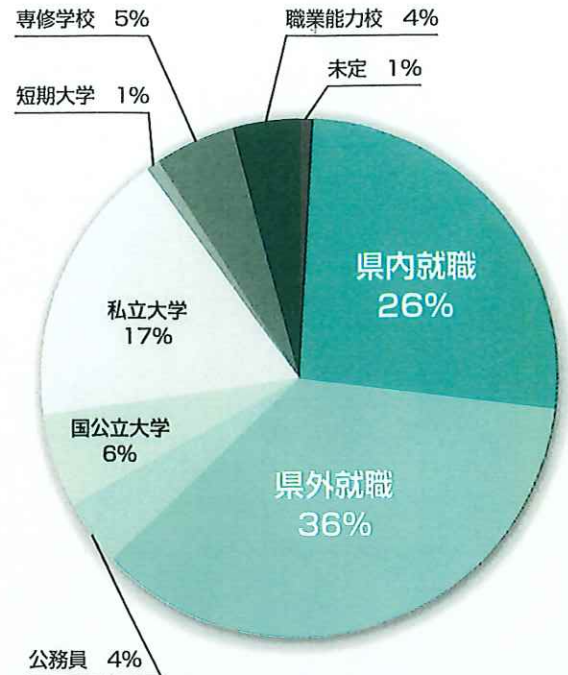
●取得できるおもな資格・検定等

2級建築施工管理技術検定（第1次検定）、建築大工技能士（2級、3級）
建築CAD検定（2級、3級）、福祉住環境コーディネーター（3級）



進路状況

（令和4年度）



年 度		2	3	4
就 職	県 内 就 職	68	57	61
	県 外 就 職	79	74	84
	公 務 員	12	17	10
	小 計	159	148	155
進 学	国 公 立 大 学	4	5	13
	私 立 大 学	46	55	40
	短 期 大 学	1	0	1
	国 立 高 専	0	0	0
	専 修 学 校	20	22	11
	職 業 能 力 校	11	6	10
	小 計	82	88	75
そ の 他	0	1	2	
合 計	241	237	232	

地域社会に卒業生を輩出している

八戸工業高等学校





交通案内

- JR八戸駅下車 車約20分
又は、バスセンター行き
「下組町」バス停下車徒歩5分
- JR本八戸駅下車 徒歩約10分
又は、ラピア行き
「工業高校前」バス停下車徒歩約1分



青森県立八戸工業高等学校

〒031-0801 青森県八戸市江陽1-2-27 TEL 0178-22-7348 (代) FAX 0178-43-2653
 進路指導部直通 TEL 0178-22-8594 FAX 0178-22-8546
 ホームページアドレス <http://www.hachinohe-th.asn.ed.jp>